

2025年5月14日

発達障害サービス局からの重要なお知らせ：

クライアントのプライバシー保護の必須事項

D-2025-ケース マネジメント-007

知っておくべきこと

これは、地域センターおよびサービスプロバイダーの為の、あらゆる場所における個人情報保護に関する確認書である。現在の法律では、RCとプロバイダーは、個人の記録へのアクセス権を持たない人への開示を拒否し、その個人が訪れる私的な場所へ入る事を拒否することが義務付けられている。

以下は、どのような情報や場所が保護され、どのようにアクセスを拒否するかについての詳細である。

保護された情報の例：

データもし誰かが個人の記録を見たいと言った場合、その人はまず、個人の情報の共有を許可する書面による承認書を提出しなければならない。

地域センターやサービス提供者は、法律で認められている場合を除き、個人情報了他者と共有する前に、本人の書面による許可を得なければならない。共有が許可される例としては、治療、支払い、医療業務の目的、または法律により情報の開示が義務付けられている場合である。

情報公開に関する個人の書面による許可は、"オーソライゼーション（承認）"と呼ばれることもある。この文書には、開示情報の内容、開示先、開示目的が明記されなければならない。個人には、圧力や報復を恐れることなく「ノー」と言う権利がある。個人はいつでも考えを変え、承認書を撤回する権利がある。

場所通常の面会者でない人物が、クライアントが訪問中のプライベートな場所に入りたいと言ってきた場合、その面会者に関する具体的な情報を入手し、弁護士またはマネージメントにその面会者の要求が合法的なものかどうかを確認するまで、その面会者を入室させてはならない。

具体的な情報とは以下の通り：1)氏名、2)所属機関または団体、3)身分証明書（法執行機関のバッジ番号、名刺など）、4)その人物がその場所への立ち入りを許可すると示す法的文書。法的審査とは、地域センターの弁護士、サービス提供者の場合は弁護士またはマネージャーを意味する。

アクセスを拒否する方法地域センターまたはサービス提供者が入館を許可できないと判断した場合、その職員は訪問者の入館を拒否するよう訓練されている。

変更事項

変更事項無しこれは、法的に許可されていない人々から個人情報保護をしなければならないという事を、地域センターやサービスプロバイダーの為の確認書である。

さらに詳しく

詳しくはこのリンクをクリック：[発達障害サービス局 クライアント保護指令](#)

クライアントの個人情報保護に関する質問と回答は、このリンクをクリック：[プライバシー保護ファクトシート](#)。